

【教育目標】

進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども



夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.8

令和2年6月19日

中央台東小学校

校長 林 和 樹

「第1回 学校評議員会」を開催しました。

— 今年度の学校経営及び新型コロナウイルス感染症対策等について —

6月17日(水)、校長室において、令和2年度第1回学校評議員会を開催しました。例年、5月に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症による臨時休業のため延期。学校再開にあわせて、やっと開催することができました。

なお、本年度の学校評議員は、保護者を代表して現PTA会長と元PTA本部役員に、地域住民を代表し高久地区4名の区長さんに、関係機関として中央台児童クラブの所長さん、中央台南中学校校長の計8名の方々に委嘱状を交付させていただきました。1年間どうぞよろしく願いいたします。

会議では、まず、本校の概要及び本年度の学校経営の方針並びに新型コロナウイルス感染症に係る経過、本校における感染予防・拡大防止対策への取組等について説明しました。質疑では、減少傾向の児童数の今後の推移や、長期間となった臨時休業中の家庭での学習についてお答えしました。

その後、主に新型コロナウイルスへの対応について協議、次のようなご意見をいただきました。

- 感染予防のため行事等が中止になるのは仕方がないが、児童の心情や思いに十分配慮して欲しい。
- 状況に応じて制限されていた活動も再開していけると思う。やり過ぎ・過剰にも気をつけたい。
- このウイルスについては未解明な部分が多く、様々な情報等で混乱も懸念。慎重な対応が大切。
- 「新しい生活様式」では、発達段階に応じた具体的な指導が必要。低学年では難しいものもある。

この他にも、区長さんから地域における健全育成や交通事故防止等について貴重な情報やご意見をいただきました。また、児童クラブ所長さんから同施設での取組、南中学校先生からは本校の卒業生や中学校の様子をお聞きすることができたいへん参考になりました。学校・家庭・地域、関係機関等が、子どもたちのために、今後も連携・協力を深めることの大切さを確認することができました。改めて、感謝申し上げます。

今年度の「プールでの水泳学習の中止」について

過日、スポーツ庁及び県・市教育委員会から、「水泳学習(プール)」における新型コロナウイルス感染予防対策に係る通知が届きました。プール水の塩素濃度等の管理を始め、示された対策等を徹底すれば、この夏のプールを使用しての水泳学習は差し支えないとの内容です。しかしながら、通知に示された対策等は、とても厳しい内容です。

- プール内及びプールサイドでは2m以上の間隔を保ち、密集を避ける。
- 多人数とならないよう複数学級・学年合同は避ける。(複数教員による指導が困難)
- つば・飛沫を飛ばさないように、 unnecessary 会話・発声は行わない。(大声・歓声禁止)
- 手をつなぐ・体を支えるなどの身体接触は行わない。安全確認は名簿・挙手で確認する。
- ビート板等の用具は使い回しはしない。使用後は消毒する。
- 更衣室は少人数で利用。タオルやゴーグルの取り違え、貸し借りをしない。

本校の規模(児童数・学級数・教職員数)や施設・設備、小学生という発達段階を踏まえ、実施に向けて検討を重ねてまいりました。また、他の小学校の状況を把握。学校評議員会でもご意見をいただきました。その結果、「命」にかかわる水泳学習における「安全確保」を第一に、また、長期間となった臨時休業後の学習・生活指導の充実・時数確保、児童の心身への負担等を考慮、総合的に判断、残念ではありますが、今年度はプールを使用しての水泳学習を中止としました。夏のプールを楽しみにしていた子どもたちには、本当に申し訳ないのですが、何よりも「命・健康・安全・安心」を最優先に決定いたしました。ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

なお、「水泳の心得」「水難事故防止」についての学習・指導は、1学期中に映像教材(DVD)等を活用しながら実施いたします。